

他市事例（庁舎整備の理念・コンセプト）

【参考】他市事例：埼玉県富士見市

富士見市では、将来における社会環境、市民サービス、職員の仕事の変化を踏まえ、庁舎整備に関する5つの方針を掲げている。

庁舎整備の理念・方針

方針1
だれもが利用しやすく
開かれた庁舎

- ・ 利用者を市民に限定せず、すべての利用者に配慮した施設とする。
- ・ 一部スペースの開放等により、多様な関係者との交流・連携の拠点を目指す。

方針2
スマートで
働きやすい庁舎

- ・ デジタル化の進展に対応した新たな時代に相応しい施設とする。
- ・ 市民サービスの担い手である職員の業務効率化や意識向上を目指す。

方針3
安全で安心な庁舎

- ・ 市民の生命、財産を守るための「防災」「防犯」「情報管理」を充実させる。

方針4
環境にやさしく
経済的な庁舎

- ・ クリーンエネルギーの活用等により持続可能な社会の実現に寄与する。
- ・ 長期間使用する施設として、将来変化や維持管理を見据えた施設とする。

方針5
富士見市らしく
親しまれる庁舎

- ・ 市の特色や歴史を再確認し、継承する。
- ・ 市のシンボルとしてシビックプライド（愛着・誇り）の醸成を図る施設とする。

【参考】他市事例：埼玉県富士見市

5つの方針に対して、8つの観点で整備機能の方向性を設定している。

理念・方針に基づいた整備機能の方向性

方針1 だれもが利用しやすく 開かれた庁舎	市民サービス機能	ユニバーサルデザインの追求、窓口のワンストップ化・集約化、プライバシーに配慮した多様な相談ブース、サービス・手続きのデジタル化、コンシェルジュの設置
	交流・連携機能	市民・団体・事業者との交流・連携スペース
方針2 スマートで 働きやすい庁舎	行政執務機能	ユニバーサルレイアウト、利便性の高い会議室・打合せスペース、ICTの活用による業務効率化、福利厚生スペース、書庫・倉庫
方針3 安全で安心な庁舎	防災拠点機能	耐震性・耐水性の確保、災害対策本部、防災資材等の保管、災害活動支援室
	セキュリティ機能	セキュリティレベルに応じたゾーニング、窓口グリルシャッターや防犯カメラ等の設備機器、情報セキュリティ強化
方針4 環境にやさしく 経済的な庁舎	環境配慮機能	自然エネルギーの活用、省エネルギー化、長寿命化、ライフサイクルコスト低減
方針5 富士見市らしく 親しまれる庁舎	シンボル機能	歴史の継承、景観に配慮した市のシンボル、市への愛着の醸成
	その他機能	将来の変化や有事の際に柔軟に対応できる仕様・スペース

【参考】他市事例：埼玉県富士見市

庁舎整備の検討にあたって、将来の社会環境の変化、市民サービスの変化、職員の仕事の変化といった視点を踏まえている。

キーワード化された視点

<キーワード化した視点>

【将来の変化や必要な機能の視点】

将来人口を10～12万人として想定 市のビジョンが重要 最も重要と言える防災機能の充実

デジタル化の更なる進展 80年以上使用することを見通す セキュリティ対策の強化

証明書発行等を目的とした来庁者減 S D G s の取組 環境への配慮

富士見市らしさ スペースの開放・有効活用・転用

高齢者など、利用者への配慮

【市民サービスの変化・視点】

行政サービスのオンライン化 相談機能の充実

窓口のワンストップ化 コンシェルジュのようなサービス・提案

【職員の仕事の変化・視点】

職員の意識改革 創造的な仕事を促す空間

事務の簡素化・見直し 職員の働きやすさ

【参考】他市事例：千葉県松戸市

松戸市では、市民サービス、職員の働き方、環境の変化を踏まえ、庁舎整備に関するの4つの方向性を示している。

庁舎整備の理念・方針

方向性1 市民サービスの向上を 図る

- 来庁しやすく、[プライバシーやセキュリティに配慮した窓口・交流機能](#)を備えた施設とする。
- [デジタル化の進展](#)を踏まえ、市民サービス向上に資する市役所機能のあり方を検討する。

方向性2 市民の安全・安心を支 える

- 耐震性不足や浸水リスクを踏まえ、[災害時にも市役所機能を維持](#)できる体制を強化する。
- [災害対応拠点](#)として必要な機能と、それに対応したスペースを整理・検討する。

方向性3 将来の変化に対して柔 軟に対応できる

- [分散化・狭あい化による市民サービス低下を解消](#)するため、市役所機能を再構築する。
- [平時・有事の切替に対応](#)できる機能配置や、[柔軟なレイアウト](#)を確保する。

方向性4 環境に配慮する

- 低炭素・再生エネルギー活用・省エネルギーなど、[環境配慮](#)を前提とした施設とする。
- 市民サービス向上や業務効率化と両立した、[持続可能な市役所機能](#)を構築する。

【参考】他市事例：千葉県松戸市

4つの方向性に対して、6つの観点で整備機能の方向性を設定している。

理念・方針に基づいた整備機能の方向性

方向性 1 市民サービスの向上を図る	窓口機能	手順のワンストップ化対応、個室相談室・相談スペース・リモート相談に対応した環境の整備、ユニバーサル対応窓口
方向性 2 市民の安全・安心を支える	執務機能	フリーアドレススペース・集中作業用ブース・リモート会議用ブース等の整備、新たな働き方を支えるICT基盤機能強化
方向性 3 将来の変化に対して柔軟に対応できる	防災機能	耐震性の確保、かさ上げ等の浸水対策設備、災害対策本部、防災備蓄倉庫・貯水槽・非常用電源等の整備
方向性 4 環境に配慮する	交流機能	オープンスペースや市民交流スペースの整備、商業施設との複合化、多様な交通手段に対応したアクセス性の確保
	支所機能強化・在宅勤務の推進	サテライトオフィス機能の整備、本庁・支所・自宅等から業務を行えるようデバイス・ネットワーク・ルールの整備
	その他機能	エントランスホールの多目的活用、公用車管理システム、EVカーシェア等の導入

【参考】他市事例：千葉県松戸市

庁舎整備の検討にあたって、DX、働き方、防災といった視点を踏まえている。

キーワード化された視点

視点	キープレーズ・キーワード
共通	・ 持続可能性（SDGs） ・ 多様性、包摂性（公正性） ・ DX ・ ESG 投資⁶ ・ 女性の参画 ・ バリアフリー ・ グレートリセット、ステークホルダー資本主義
サービスの提供の仕方（DX）	・ 一人ひとりのニーズに合ったサービス ・ 社会の様々なニーズにきめ細かやかに対応 ・ 多様な幸せが実現できる社会 ・ 誰一人取り残さない、人に優しい ・ 利便性を飛躍的に向上 ・ 様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会（＝超スマート社会）、Society5.0 ・ 経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
働き方	・ いかなる環境下においても必要な公務サービスを提供できる体制 ・ 生産性の向上につながる ・ 一人ひとりの多様な働き方 ・ 行政サービスの質が向上 ・ 包摂的な社会、一人ひとりの可能性の発揮
環境	・ 経済成長を続けつつ、環境への負荷を最小限にとどめる ・ 循環共生型の社会 ・ カーボンニュートラル、グリーン社会（脱炭素社会）
防災	・ 国土強靱化 ・ レジリエンス⁷強化

【参考】他市事例：東京都江東区

江東区では、市民の安全、利便性、交流などの観点を踏まえ、庁舎整備に関する5つの基本理念と、それに伴う8つの基本方針を掲げている。

庁舎整備の理念・方針

基本理念

水害をはじめとした
あらゆる災害やリスクから
区民の暮らしを**まもる**庁舎

行政サービスの変革・拡充や
アクセシビリティの向上を通して実現する
すべての区民に**よりそう**庁舎

多様な交流を創出するとともに、
区民と行政、下町と臨海部、
江東区の過去と未来を**つなぐ**庁舎

最先端の環境性能を有するとともに、
水、緑、木材など、区の特徴をいかした
シンボルとなる庁舎

長期的な財政負担に配慮するとともに、
時代の変化に柔軟に対応する
かわりつづける庁舎

基本方針

災害・その他リスクへの対応力の強化

行政サービスの変革・拡充

アクセシビリティの向上

交流・協働の機会の拡大

情報発信機能の強化

江東区らしさの継承

先進的な取組の実施

ライフサイクルコスト（LCC）の低減

【参考】他市事例：東京都江東区

9つの導入機能はそれぞれ細分化され、計14の整備機能が設定されている。

分類			理念・方針に基づいた整備機能の方向性	機能等の例
基幹機能	防災・災害対策	耐震性・浸水対応	<u>高い耐震性能</u> を持ち、 <u>浸水対策について特に高い性能を持つ</u> 庁舎とする	災害対策の指揮、災害時の非常用発電設備の設置、土地かさ上げ、デッキの整備 など
		災害対応	<u>災害対策本部</u> としての機能の充実を図る	災害時を想定した諸室構成 など
	区民サービス	窓口・案内	<u>スムーズな窓口対応</u> ができ、 <u>来庁しなくても行政サービスが受けられる</u> ようにする	ワンストップサービス、手続き等のオンライン化、出張所・先進機関との役割分担 など
		相談	<u>相談機能の充実</u> を図る	プライバシーを重視した相談スペース など
	行政・議会	執務	職員が <u>働きやすい</u> 庁舎、 <u>多様な働き方を実現</u> できる庁舎とし、サービスの充実を図る	AI・RPA等の活用、ABWの考え方にもとづいたスペース など
		議会	区民に対して <u>開かれた議会</u> を体現する	区民と距離の近い傍聴スペース など
協働・まちづくり機能	区民協働等	区民協働	<u>区民と行政をつなぎ</u> 動かす庁舎とする	情報発信機能、区民協働窓口 など
		交流	区民が日常的に立ち寄り、交流や活動ができる <u>交流型の庁舎</u> とする	多様な使い方ができる一等の解放広場スペース、広場、講堂の開放 など
	まちづくり		あたらしい <u>まちづくりと連携する</u> 庁舎とする	周辺との一体的な土地、建物活用 など
	複合化		<u>相乗効果</u> が期待できる機能の複合化を検討する	交流等を促進する用途の公共施設との複合化 など
共通機能	DX		<u>公共サービスのあり方を変える</u> DXを推進する	BYOD、施設整備による業務DX など
	ユニバーサルデザイン		<u>あらゆる利用者</u> にとって利用しやすい庁舎とする	一般的なデザインを超えた庁舎の実現 など
	環境・サステナビリティ	建物の環境性能	<u>環境性能の高い</u> 庁舎を目指す	建物のZEB化の推進 など
		可変性・拡張性	<u>行政需要の変化に対応するため、可変性・拡張性を備えた</u> 庁舎を目指す	スケルトン・インフィル など

【参考】他市事例：東京都江東区（参考）

庁舎整備の検討にあたって、利便性・業務効率性、アクセシビリティ、交流・まちづくりといった視点を踏まえている。

キーワード化された視点

利便性・業務効率性

- DXにより確保した職員リソースをもとにした行政サービスの拡充
- デジタル化の推進
- 交通結節点となる
- 職員が働きやすい
- 相談・手続きがしやすい
- 庁舎機能の分散
- 行かない・書かない・待たない庁舎
- 明るい役所

安心・安全

- 避難できる広い場所
- 防災性にすぐれた庁舎

環境

- 緑や水との親和性
- 木材等の活用
- 環境に配慮する

アクセシビリティ

- 多言語対応・障害者対応の充実
- あらゆる人にとって快適な窓口
- 気軽に来られる楽しい場所
- 気軽に直接相談できる場
- 目の見えない人でも体験できるアート
- バリアフリーに配慮する
- 多様な文化を受け入れる

その他

- 特別感のある場所
- 遊ぶ場所・スポーツできる場所
- 乳児や幼児が時間を過ごせる場所
- 屋内の公園
- 区民が欲しいと考える機能を導入
- 商業機能等を導入
- 話ながら勉強できる場所

コスト

- ローコスト・ライフサイクルコスト最適化
- コンパクトな庁舎
- 収益をうむ

交流・まちづくり

- 関連する団体が連携しやすい
- 多様な機能との複合化
- 区民や職員が好きになる区役所
- 人とのつながりをつくる
- 区民の「やりたい！」を支援する
- 行きたくなる、居場所となる
- 様々な人と交流できる場所
- 行政の考えを体感できる場
- 働くことを誇りに思える区役所
- 区民、団体、企業、職員等の多様な交流を生む場所
- 新庁舎と周辺のまちが一体的に発展
- 区民体験（行政とのふれあい）
- 朝や夜に色々使い方ができる
- 人が集まる
- 区民、商業、文化、行政の交流
- ハブ・コーディネート機能を果たす